

第64回
総代会

広げよう健康生協の魅力を、 つくろう健康生協の地域包括ケア

6月16日(土)あわぎんホールで徳島健康生活協同組合、第64回総代会が開催されました。

総代定数224名のうち本人出席177名、代理出席2名、委任状37名、その他45名が参加し、第1号議案から第6号議案まで賛成多数により可決決定いたしました。



- 第1号議案 2017年度総括と2018年度方針決定の件
- 第2号議案 2017年度事業報告・決算関係書類承認の件
- 第3号議案 2018年度予算決定の件
- 第4号議案 役員選任の件
- 第5号議案 役員報酬決定の件
- 第6号議案 議決事項一部修正権委任の件

ボランティアを始めよう

北島支部

新見 博子さん

徳島県人に戻ってかれこれ5年になります。徳島健康生協とのお縁は4年前からです。班会や機関紙の折込に参加するようになり、昨年5月の折込のとき理事さんが「誰かボランティアしてくれる人いないかな?」と誰にもなくおっしゃったので、「私でもええんかなあ」と軽くのっけしてしまいました。

当時、筋肉をつけることが最大の課題でした。カーブスやウォーキングも試してみましたが、何をしても長続きしない、横着で根性なしの私にはゆるい拘束のあるボランティアは、うってつけのリハビリだと考えました。そして、1年前の6月上旬からボランティア開始となりました。

「ボランティアってどんなことするの?」と思われる方が多いかと思いますが、これといって決まったことはなく、車椅子の方の介助、院内の案内などが主な内容です。

また、患者さんと顔なじみになると、いろいろな話をしてくれれます。たとえば、予約時間より早く来院して、待ち時間が長いと苦情を言っている方が実はガンを宣告され「一人で家にいるのが怖くて不安だから病院に来ている。誰かの目があって安心できる」と本音を教えてくれたりします。

では、私がどんな気持ちでボランティアをさせてもらっているのかと言

いますと、意識していることは2点あります。

1つ目は、ために挨拶すること
2つ目は、両手を必ず身体の前におくこと

これは、手が見えないと拒絶されているようで声をかけにくく、逆に手前にあるといつでもおうかがいしますよという印象を与えるからです。これらに気をつけながら話す・聞く・軽く動くボランティアは、無料のデイサービスといったところでしょうか。良いと思いませんか?

この間、テレビを見てみると「健康に年を重ねるには、教育と教養が必要である」と。(こりやダメだ!)私は寝込むのか...と思ったら違っていたんですね。

教育とは、今日 行くところがある。(健生病院ですよね)
教養とは、今日 用事がある。(ボランティアですよ)

これ、最高じゃないですか!

みなさんボランティアをして健康寿命を延ばしてみませんか?



健生病院応援ソング「未来へ」

作詞/協田愛

作曲/ yuyu (yuyu with eriri)

編曲・演奏/ sora (yuyu with eriri)

うた/ yuyu with whiri (sora)

朝の光が 体をつつみ

吉野川から吹く風 季節を告げる

山よ川よ街よ人よ

ここは生命 息づくところ

手と手をつなぐぬくもり触れたら

明日もきつと生きてゆける

ララララ

創ろう

創ろう あなたと私

創ろう 創ろう 健生病院

窓をあければ 眉山はるか

いとしい人と思い 見上げる月夜

空よ雲よ星よ山よ

人は弱くも強くも生きる

あなたと私と仲間とともに

未来はきつと どこかにあるよ

ララララ

残そう 残そう 歴史とともに

残そう 残そう 健生病院

残そう 残そう 未来への君へ

